

「戦争させない」総がかり行動が集会 「安倍9条改憲NO！」統一署名を全力で 北海道100万筆達成めざす

2月19日、札幌で「戦争させない」総がかり行動の集会が開かれ500人が参加して、「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名（3000万署名）」の北海道100万筆目標をやりぬく決意を固めました。今回の集会は屋内開催（自治労会館）で、会場からあふれる参加者の熱気につつまれました。はじめに主催者あいさつをした北星学園大学の岩本一郎教授は「自衛隊を憲法に書き込むだけだと言うが、書き込まれるのは集団的自衛権を容認された自衛隊であり、安保法制も合憲化される」と危険性を強調しました。続いて、東京からかけつけた憲法共同センター代表委員の小田川義和全労連議長が「憲法を守らない安倍首相に憲法を変えさせるわけにいかない。北海道が全国の運動の牽引車となってほしい」と連帯のあいさつを述べました。このあと基調提起を、総がかり行動実行委員会共同代表の福山真劫さん（「フォーラム平和・人権・環境」代表）がおこない、「いろんな経過を横に置いて共闘することが大事だ。そうすれば勝てる可能性があり、総がかり行動も野党共闘も本格的に前進させることが求められている」と訴えました。

建交労中央本部・角田委員長が「訴え」

建交労の角田季代子中央執行委員長は、建交労のなかまに「安倍改憲を阻止し、憲法のいきる日本をつくるため『3000万人署名』建交労20万筆達成にむけ全力をあげよう」とよびかける訴えを発表しました。

道庁がパブリックコメント(意見)募集

北海道交通政策総合指針案

「鉄道の廃止許さない」の声を集中しよう

北海道運輸交通審議会は2月19日、高橋知事に「北海道交通政策総合指針」（案）を答申しました。この「指針」は2030年（北海道新幹線の札幌延伸）にむけて、北海道の新たな交通施策の方向性をまとめたものですが、JR北海道の「路線見直し」について「維持する路線＝宗谷線・石北線」「維持に努める路線＝根室線（釧路～根室）・釧網線・富良野線・根室線（滝川～富良野）・室蘭線（沼ノ端～岩見沢）」「バス転換など他の交通機関に代替する路線＝日高線・留萌線・根室線（富良野～新得）・札沼線（北海道医療大学～新十津川）」に切り分けて、鉄道を残してほしいという道民の願いを踏みにじろうとしています。高橋知事はこの答申にもとづいて沿線自治体との協議をすすめるようしていますが、国の支援の枠組みも明らかではなく、道としての具体的な支援策も示さないまま、自治体に「廃線の決断」を迫ることになりかねません。この「指針案」について、道庁は3月1日までパブリックコメント（意見）を募集していますから、「鉄道の廃止は許さない」の声を集中しましょう。

建交労のなかまの皆さんへ

安倍改憲を阻止し、憲法のいきる日本をつくるため 「3000万人署名」建交労20万筆達成にむけ全力をあげよう

安倍政権のもとで、2012年12月の第2次安倍内閣発足以降、日本の針路を問うせめぎ合いが続いています。2013年12月の秘密保護法強行、2014年7月の集団的自衛権行使容認の「閣議決定」、2015年9月の安保法制＝戦争法強行、2017年6月の「共謀罪」法の強行、そして、いよいよ改憲発議。国民投票も視野に入れ、「戦争する国」にむけての総決算をしようとしています。憲法をめぐる正念場の2018年です。

政府は今年度予算案で軍事費を過去最高の5兆1911億円計上し、米軍への「思いやり予算」や辺野古新基地建設費なども過去最高の4180億円に上っています。アメリカ製オスプレイ17機3600億円、1機あたり210億円の購入を予定し、アメリカの軍需産業を潤すという事態になっています。

私たち主権者である国民は、二度と戦争する国にはさせないと、戦後一貫して「憲法9条」を守り抜いてきました。私たちの切望するものは、「大砲よりバター」であり、殺し殺される「戦争」のための軍備ではなく、人種や宗教や経済構造の違いを乗り越え、国境を隔ててもお互いに尊敬(リスペクト)しあうことです。

「戦争」は私たち庶民の普通の生活を根こそぎ奪い、破壊します。労働者にとっての抵抗の力となる労働組合を弾圧し、人権を奪い、未来を閉ざします。

各地ですすでにご奮闘のことと思いますが、建交労のなかま一人ひとりが「3000万統一署名」の行動に立ち上がり、建交労の目標20万筆達成を心から呼びかけます。

「失業と貧乏と戦争に反対する」建交労の真価を発揮し、安倍政権の野望を打ち砕き、平和で民主主義の花咲く日本にしていくために全力をあげましょう。

2018年2月

建交労中央執行委員長 角 田 季代子